令和7年度事業報告書

公益財団法人　備前市文化芸術振興財団

令和7年度事業報告書

Ⅰ事業の状況

当財団は、備前総合計画に示されている「市民一人ひとりが地域の歴史や文化を学び、そこに住むことに誇りや喜びを感じられるまち」、「新たな文化的魅力の創出と情報発信による交流が生まれるまち」、「誰もが身近なところで、気軽に芸術文化に触れることができるまち」を目指し、備前市民への文化芸術鑑賞や地域に育まれた伝統工芸「備前焼」の振興に資する事業を行政や地域との連携を図りながら行っています。令和7年度は7月12日に開館した備前市美術館並びに備前市備前焼伝統産業会館の管理運営と、施設を活用した自主事業などを通して市民の文化振興、備前焼のより一層の魅力発信や継承の促進を図る事業展開を実施しました。

（公益目的事業）

個性豊かで活力ある地域社会の発展に寄与することを目的に、次の5種類から構成する事業を実施します。

（1） 文化芸術の振興に資する事業
（2） 市民の自主的な文化活動の促進に資する事業
（3） 備前焼の振興に資する事業
（4） 文化芸術施設等の管理運営に関する事業
（5） その他この法人の目的を達成するために必要な事業

Ⅰ 公益目的事業

(1) 文化芸術の振興に資する事業

様々な文化芸術の鑑賞並びに触れる機会を提供することにより、日々の生活の中で文化芸術を身近に感じられ、心豊かな環境を提供する。

ア．いいむろなおきマイムカンパニー公演 ～かえる？王子様～

人と人とのコミュニケーションの大事さを見つめ直し、幅広い世代に「マイム」（言葉を使わない身体や表情で相手に伝える無黙劇）をとおして、感受性を高めるコミュニケーションを楽しめる環境を提供し、芸術的な刺激を直接体感。豊かな感性を育みだすことで市民の文化芸術の向上に努める。

幼児・児童の多感な時期、親子で一緒に楽しめる作品の鑑賞・体験の機会は

青少年の健全育成の一助となる公演を実施する。

※ 今後実施に向け検討した。

イ．いいむろなおき「マイムバラエティショー」学校鑑賞会＆ワークショップ

幅広い世代に「マイム」（言葉を使わない身体表現を相手に伝える「黙劇」）をとおして、五感で創造・表現を楽しめる環境を提供し、芸術的な刺激を直接体感してもらう。児童・生徒の多感な時期、ひとり一人の豊かな感性を育みコミュニケーションや表現力の引き出しを広げるとともに、文化芸術鑑賞と体験の機会を学校というコミュニティの場で提供することで、地域との繋がり、心豊かな日常生活を学ぶ場を提供し青少年の健全育成の一助に寄与する。

※ 令和8年度実施に向け検討した。令和8年2月に備前市小・中学校校長会で紹介。

日　　時　令和8年9月・10月・11月の平日
　　3・4時間目又は5・6時間目等2コマを希望
出　　演　いいむろなおき（いいむろなおきマイムカンパニー）
上演時間　30分～40分　休憩後「マイムワークショップ」20分程度
会　　場　実施小・中学校体育館
対　　象　実施小・中学校の児童・生徒・教職員（並びに希望する保護者）
　　（小・中学校　3校程度予定）
※小学校、中学校が隣接している学校で合同での鑑賞・体験も可能
募集締切　令和8年3月27日（金）

申 込 校 備前市立吉永小学校／備前市立伊里小学校
　　備前市立香登小学校／備前市立伊里中学校　　計4校

令和8年4月から上演に向け、各学校との打ち合わせを実施。

ウ．こどもオペラ　0歳からの音楽と朗読のクラシック名曲コンサート

絵本の読み聞かせ、音楽を聴かせることはこどもの感受性や想像力を発達させる非常に有効な方法であることが証明されており、家庭における読み聞かせは、こどもと親のコミュニケーションとしての役割が大きい。今企画ではプロ

の声優が役を演じ分け、ライブでしか体験できない臨場感、演者と観客の一体感を創出することにより、こどもの想像力を伸ばす。

また、図書館司書、読み聞かせグループと連携を図り、より多くの親子に参加いただき、日常的に取り入れていただける環境を提供するため、今回の出演者とともに「絵本の読み聞かせワークショップ」を併せて開催する。

a)セロ弾きのゴーシュ～

※令和8年度備前市図書館開館記念事業として実施に向け検討した。

日　　時　令和9年1月又は2月の日曜日
一回目11時開演/二回目14時開演（公演時間60分程度）

出　　演　金元寿子（声優／岡山県出身）
又は岡咲美保（声優／岡山県出身）
他バリトン、フルート、ヴァイオリン、チェロ、三味線、ピアノ

会　　場　備前市図書館多目的ホール

対　　象　親子対象（0歳児から入場可能）

入 場 料　前売　大人1，000円、こども（3歳以上中学生以下）500円
当日　大人1，500円、こども（3歳以上中学生以下）800円
※3歳未満の膝上鑑賞無料（ただし、席が必要な場合は有料）

～セロ弾きのゴーシュ～　ストーリー

金星音楽楽団に所属しているチェロ奏者のゴーシュは最近スランプで思ったように演奏することができません。こどもオペラ版セロ弾きのゴーシュはストーリーを織り交ぜ、音楽に必要な要素である「旋律」、「音程」、「リズム」、「強弱」の大切さをゴーシュとともに体験的に学べる舞台です。

ゴーシュは心優しい動物たちに出会い、音楽を通して人と向き合う心の大切さ、素直な心に自然と向き合うことができるようになっていきます。ゴーシュのやさぐれた性格も素直に、奏でる音も心地よい音に変わっていき、最終的には楽長にも褒められる程、成長します。

b)声優による「親子で絵本の読み聞かせワークショップ

日　　時　令和9年1月又は2月の土曜日　13時30分（60分）

出　　演　金元寿子（声優／岡山県出身）
又は岡咲美保（声優／岡山県出身）（交渉中）

対　　象　子、認定こども園・保育園の教職員並びに保育士、図書館司書、

読み聞かせボランティア、その他興味のある方
入 場 料　無料（事前申込必要）

※備前市図書館の開館が令和9年4月以降になる見込み。
令和8年度に今後の公演に向け新図書館担当課と協議する。

エ．新春邦楽演奏会　～箏と尺八・囃子のしらべ～

江戸時代から現代にかけて継承されている「箏曲」箏（こと）と「尺八」、「三絃」、「鼓」の音色を“日本の心”の音楽と称され、備前焼の里にある、美術館で日本伝統楽器の「箏・十七絃・三絃・尺八・鼓」による日本伝統音楽の新春邦楽奏会として実施した。

日　　時　令和8年1月12日（日）　一回目11時開演　二回目14時開演
（公演時間60分程度）
出　　演　岡山三曲協会（三上澄之、三上歌舞、三上歌藍、三上隆睦
塩治尺山、井藤侃山）
囃子桜友会（望月太津友、望月太津友都、河合志穂）
会　　場　備前市美術館「「1階エントランスホール」
入 場 料　無 料
参 加 者　一回目 80 人　二回目　75人






オ．波紋音×舞踊×お囃子　　～土のかほり　水のかほり～

波紋音（はもん）は、鍛造でできた、鉄のスリットドラムで、水琴屈の音にインスピレーションを受けた日本の美術家、斉藤鉄平氏によって作られた。
水琴屈（古くから日本の寺や庭園などにあるもので、底部に小さい穴を空けた甕（かめ）が伏せて地中に埋まっており、その穴に水を流すと、甕（かめ）

に溜まった水面に滴（しずく）が落ち反響して音をだす装置。）は、日本庭園にある伝統的な音響装置（音のしかけ）で、波紋音は、「音が波紋のようにひろがるように」、というイメージで命名された打楽器。

波紋音の不思議と癒されどこか懐かしい音色と鼓の和音でインスピレーション即興舞で空間を創造し演じ、「聴覚」「視覚」「触覚」を美術館という空間を異空間へと誘う新たな芸術文化を提供し、文化芸術への創造を図る。

※出演者との日程調整がつかなかったため中止

カ．美術館弦楽コンサート　～弦楽四重奏の調べ～

室内楽を代表するジャンルが、ヴァイオリンⅠ・Ⅱ、ヴィオラ、チェロの編成で演奏される弦楽四重奏。展覧会にあわせた選曲で構成し来場者に憩いのひと時を提供。また、イルミネーションやライトアップ等他事業とのコラボレーション企画で一層幻想的な空間を提供する。

※開館記念コンサート「フランスによせて」として編成を変更し
7月26日（土）に実施

キ．備前市美術館ライトアップ＆イルミネーション

美術館開館の年の締めくくりと新たな年を迎える喜びに感謝し、美術館という建物自信の内外をキャンパスにライトアップ＆イルミネーションで冬の澄みきった夜空と空間を演出。1階エントランスホールや3階ラウンジ、茶室の開放。茶室からの枯山水の彩を楽しんでいただくとともに、地域に育まれた個性豊かで活力のある地域社会の環境を図り、駅前の賑わい創出につなげる。

※10月18日（土）「備前焼まつり」、ナイトミュージアムのなか実施





ク.（仮）作家協会（陶芸・彫刻・写真・洋画・書道・日本画・工芸 ）七部門の設立に向けての協議

※調整がつかず中止

ケ.備前市美術館ナイトミュージアム （市委託事業）

令和7年7月12日開館した備前市美術館をメイン会場に20時まで開館時間を延長し、ライトアップを用いてふだんの美術館とは異なる夜の装いで来館者を迎へ、展示の観覧や美術館の空間をつかったパフォーマンスや、音楽、館内カフェでおもてなし。お茶室ではプレミアムお茶会。ラウンジやエントランスホールでの音楽を聴きながらのひと時をふだんと違う夜の美術館を五感で楽しんでいただいた。

日　　時　令和7年10月18日（土） 17:00～20:00
出　　演　いいむろなおき（マイム俳優）
DIf（岡田吉加、万代祐梨子、三宅乃愛、古屋早々明、
西村菜々心、ルグラン・ジュリアローズ）
清水フミヒト（舞踊家）、ピアニストユリ
Eriko T. Murray（歌）
橋本雅衣（ショパン国際ピアノコンクール in ASIA金賞受賞者）
岡山三曲協会（三上澄之、三上歌舞、三上隆睦、塩治尺山）
米倉孝トリオ（米倉孝（T.Sax）、米倉由起（Pf. ）、
芝田奨（W.Bass）
みずほ倶楽部（田中みずほ、藤原可菜子、植野厚子、
小田こはる）
プレミアムお茶会（席主：木村宗英（備前市茶道連盟））
会　　場　1階　エントランスホール（マイム、ジャズ、ピアノ、DIF）
歴史展示室（備前焼歴史展示）
展示室0（定窯展）
ショップ／カフェ　OPEN
2階　展示室
展示室1（備前焼　―至極の逸品―）
展示室2（収蔵品展）
展示室3（正宗文庫展）
観覧料　一般500円、大学生／高校生300円
中学生以下無料

3階　ラウンジ（民謡、三曲演奏会：無料）

日本の四季の彩を枯山水（庭園）のライトアップと日本伝統音楽で和文化の魅力を発信。

茶室（壺々庵　プレミアムお茶会）

（予約申込必要一席2，000円）

茶室で一席5名程度、限定25名程度で実施。茶室からの枯山水（庭園）のライトアップを眺めながら人間国宝の方々のお茶碗でお茶席を楽しんでいただきました。

来 館 者　591人（17：00～20：00）








コ．異文化交流事業

異文化交流をとおして、異なる価値観や文化に触れ自分の考えだけでなく、相手の背景や習慣、文化を理解し協調性や共感力を養い新たな発見、創造を促すことで多様な視野を広げ人と人とのコミュニケーションを深め、次世代を担う青少年の健全育成の増進を図る。

・フィリピンセブ州コルドバ町交流事業

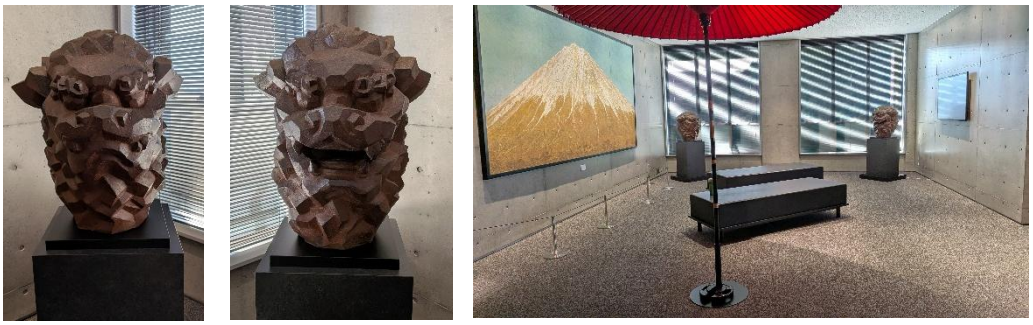
備前市がフィリピン共和国セブ州コルドバ町と教育・文化交流協定書の締結により、教育・文化・芸術・スポーツの幅広い分野で協力し活動を推進。

日本伝統文化でもあり、現在スポーツとしての剣道の推進のため、剣道防具一式をコルドバ町から依頼があり、剣道具一式をコルドバ町に寄贈した。

・剣道防具一式/子ローム革仕立　10個
・仕組竹刀男子用　10本
・剣道防具バック　10個
・竹刀袋　10個

サ．コレクション収集事業（美術館美術品購入事業）

① 地域の文化的資産である備前焼。備前市美術館開館にあわせて、美術館の魅力の増進やインバウンドの需要に寄与し、多くの国内外の方々に備前焼の魅力や理解を深める機会として藤原康制作の備前焼モニュメントを3階ロビーに設置した。



備前焼「獅子頭（阿吽一対）」　作家：藤原　康

② パブロ・ピカソのセラミック作品「山羊の横顔」を収蔵。現在、備前市収蔵の3作品に加え 1952 年制作の「山羊の横顔」セラミック（直径41㎝）100 部制作の内、一作品を購入し、新収蔵品展として広く公開している。



1952年制作「山羊の横顔」
セラミック（直径41㎝）

（2） 市民の自主的な文化活動の促進に資する事業

ア.備前　お茶席（備前市美術館　月釜）

釉薬を使わず高温で焼成された陶器。「焼締」「茶褐色の地肌」「胡麻」「桟切」「火襷」という特徴を持つ備前焼の茶器を用いてのおもてなし茶会を開催。

12月から毎月1回月釜として茶会を開催し、それぞれの茶会で備前焼の特徴あるお茶碗で季節の移り変わりを感じるお菓子とともに備前焼の特徴や歴史・座学を交え「視覚」「聴覚」「嗅覚」「味覚」「触覚」の五感で豊かなひと時を提供した。

日　　時　令和7年12月13日（土）
全四席　　席主：木村宗英（備前市茶道連盟）　参加者22人
令和8年1月12日（月・祝）
全七席　　席主：山本竜一（備前市茶道連盟）　参加者38人
令和8年2月15日（日）
全七席　席主：木村宗英（備前市茶道連盟）　参加者53人
令和8年3月　1日（日）
全七席　席主：木村宗英（備前市茶道連盟）　参加者48人





時　　間　10：00～16：10　（受付は30分前から15時00分まで）
会　　場　備前市美術館３階茶室「壺々庵」
定　　員　一席7人で七席＝49人（最大56人）
席　　料　1，000円（季節のお菓子付）
参 加 者　全4回　161人

イ.日本画講座ワークショップ

日本の伝統絵画を総称して「日本画」といい、現在、一般に使われている「日本画」という名称は、明治以降に、西洋から伝えられた油彩画と区別するために生まれたもので、「日本画」と「西洋画」の違いは、大雑把な言い方をすれば、描くために使用する素材の違いということになります。

そこで、日本画の歴史をたどり表現など時代とともに変化してきている中、「日本画」と「西洋画」について学ぶことでそれぞれの感性の育成を図る。

※ 今後実施に向け検討した。

（3） 備前焼の振興に資する事業

ア.備前焼の歴史（1階歴史展示室）

備前焼800年の歴史を作品及び出土品で紹介している。古代の須恵器（瀬戸内市邑久古窯跡群ほか）から、中世に備前焼が始まった頃の壺や擂鉢などの製品のほか、二石甕、水指、徳利、丸瓦、置物など、安土桃山～江戸時代の製品を紹介している。明治時代以降の備前焼が、耐火煉瓦や土管などの工業製品に転化していく流れを示している。（工業製品以外の、手作りの工芸品、美術品として現代へ続いている流れは、「備前の現代陶芸：至極の逸品」や「収蔵品展Ⅰ」でご覧いただいた。）

会　　期　令和7年7月12日（土）～令和8年3月31日（火）
会　　場　1階歴史展示室
作　　品　出土品を中心に約60点
入館者数　52,063 人
入 館 料　無料
主　　催　備前市歴史民俗資料館
　　備前市埋蔵文化財管理センター



イ. 定窯の現代陶芸－天下無双―

備前市が令和7年1月に姉妹都市協定を締結した中華人民共和国河北省保定市曲陽県には、中国宋代の名窯として世界的に知られる定窯が存在する。

備前と定窯は、ともに世界的な名窯であり、伝統を受け継ぎながら、現在も窯業地として、活動が盛んである。そして両地とも、未来へ陶芸をさらなる発展しようと努力しているが、技術の継承や発展には課題がある。本展は、曲陽県と備前市の陶芸を通じた文化交流の一環とし、定窯で活躍する現代陶芸作家の作品を紹介し、定窯のかかえる課題をとおして、備前陶芸の発展につなげようとする狙いをもつ。

会　　期　令和7年7月12日（土）～10月31日（金）
会　　場　1階展示室0
作　　品　8 人の作家による 18 点を展示
入館者数　27，663人
　　※「ピカソの現代陶芸、「備前の現代陶芸：至極の逸品」を含む



観 覧 料　無料
主　　催　備前市文化芸術振興財団／備前市
　　中華人民共和国河北省保定市曲陽県



※関連事業
・開幕式典
日　　時　令和7年7月18日（金）　9:00～9:30
会　　場　1階講堂
出 席 者　大阪領事館、曲陽県長等 15 名及び市関係者合計 40 名
成　　果　備前市の作家が、過去に提供を受けた定窯の土と備前の土を、同じ窯で条件を変えて焼成したテストピースも展示品として加わり、両者の土の違いや特性を伝えられ、より理解を深めることができた。今後、陶友会をとおして民間レベルでの交流をすすめるかたちとなった。

ウ．収蔵品展Ⅰ　特集：備前陶芸の近代から現代　景色と表現

① 緋襷、胡麻、抜け、牡丹餅など備前陶芸の鑑賞ポイントを館蔵品約30点によって解説し、備前陶芸の魅力をわかりやすく伝えた。会期中に人間国宝・伊勢﨑淳氏が文化功労者に選出されたことから、これを顕彰する特設展示を実施。淳氏の造形力のある備前陶芸を紹介し、さらなる魅力を発信した。（淳氏から6点借用し館蔵品3点とともに特設展示）
② 北斎漫画展の開催により、展示場所が2階の展示室から 1 階展示室0に変更。展示室の広さに応じて展示資料を調整しつつ同内容で開催した。

会　　期　① 令和7年10月11日（土）～令和7年12月25日（日）
　　② 令和8年1月6日（火）～令和8年3月8日（日）
会　　場　① 2階展示室2
　　② 1階展示室0
観 覧 料　①　一般500円、学生300円、中学生以下無料
　　②　無料





エ.正宗文庫の小宇宙　－敦夫の愛した選りすぐり－　(2階展示室3)※

正宗文庫は和気郡伊里村(現備前市穂浪)にある、書籍や古典籍を収蔵する文庫である。その創設者は、国文学者であり歌人の正宗敦夫(1881―1958)で、郷土岡山の歌人や学者の貴重な書籍を蒐集した。今に至るまで大切に受け継がれている。文庫の貴重な資料は、2002年から人間文化研究機構国文学研究資料館によって継続的な調査が行われ、それを基盤に2022年度より同資料館で協同研究がされており、2023年から岡山県立博物館にて研究成果が展示されてきた。2025年は、備前市美術館の開館を機に、地元で改めて正宗文庫と正宗敦夫を取り上げ、貴重な古典籍資料や敦夫と関わりのある備前焼作品を紹介した。

会　　期　令和7年10月11日(土)～令和7年12月14日(日)
会　　場　2階展示室3
作　　品　書籍・古典籍21組
　　備前焼ほか陶器12点、
　　その他関連資料4点
　　作品借用先：一般財団法人正宗文庫



観覧者数　5，263人
　　(「備前の現代陶芸：至極の逸品」(後期)を含む)
観 覧 料　一般500円、学生300円、中学生以下無料



※関連事業
・ギャラリートーク(4回開催)
日　　時　①10月25日(土)　岡山県立博物館副館長　内池 英樹 氏
　　②11月8日(土)　ノートルダム清心女子大学教授 東城 敏毅 氏
　　③11月22日(土)　就実大学専任講師　竹内 洪介 氏
　　④12月13日(土)　就実短期大学教授　加藤 美奈子 氏
参加者数　合計128人

開催日	10/25	11/8	11/22	12/13
参加者	35人	35 人	35人	23 人

参 加 費　当日鑑賞券

・「オリジナル和綴じノートをつくろう」ワークショップ
「オリジナル和綴じノートをつくろう」と題して、正宗文庫に多く所蔵されている昔の和綴じの綴じ方を習いノートを作成した。参加者自らがカラフ

ルな表紙と綴じ糸を選ぶことができ、オリジナルノートを作成できたことから好評だった。

日　　時　令和7年11月16日（日）　①10：00～　②14：00～
会　　場　1階講堂
講　　師　太田珠音（学芸員）、石川恵理（学芸員）
参加者数　12人
参 加 費　300 円／人



オ．備前市美術館開館記念特別展

a）浦上コレクション　北斎漫画 画狂！画驚！！ 画叫！！！
（2階展示室1･2･3）

葛飾北斎（1760－1849）が弟子たちの絵手本として作成した『北斎漫画』は、1814年に初版が刊行されると好評を博して版を重ね、北斎死後の明治11年（1878）までに全十五編が出版されるという超ロングセラーとなった。北斎は、大胆で奇抜な構図、繊細かつ軽妙な筆致で知られているが、『北斎漫画』にはそうした魅力であふれている。

『北斎漫画』などの浮世絵の版本は、江戸時代後期に大量に出版されたがゆえに、日本から海外へ輸出される陶磁器の箱の詰め物としても再利用された。

この詰め物に目を留めた一人フランスの銅版画家フェリックス･ブラックモン（1833－1914）が印象派の画家たちに広めた。折しもパリ万博において日本の工芸品が展示されたこともあいまって、フランスを中心にジャポニスム（日本趣味）がブームとなった。この流行を受けて制作された陶磁器には、『北斎漫画』などの浮世絵の図案を写した動植物や昆虫などが生き生きと描かれており、ジャポニスムの陶磁器として紹介した。



会　　期　令和8年1月10日（土）～令和8年3月8日（日）
会　　場　2階展示室1･2･3
作　　品　『北斎漫画』初編～十五編：版本 15 冊
代表的な図版 200 点（額装）
ジャポニスムの陶磁器9点
作品借用先　浦上蒼穹堂　代表　浦上 満　氏
岐阜県現代陶芸美術館
茨城県陶芸美術館
観覧者数　7,447 人



観 覧 料　一般1，000円、学生800円、中学生以下無料
図　　録　2，000円（印刷部数1，000冊）
（販売部数374冊、頒布500冊）



※関連事業

・講 演 会　世界を驚かせた北斎と『北斎漫画』
日　　時　令和8年1月10日（土）　13:30～15:00
会　　場　1階講堂
講　　師　浦上　満　氏（浦上蒼穹堂代表）
参加者数　60人
参 加 費　当日鑑賞券



・講 演 会　葛飾北斎の魅力
日　　時　令和8年2月7日（土）　13：30～15：00
会　　場　1階講堂
講　　師　安村 敏信 氏（北斎館館長）
参加者数 60人
参 加 費　当日鑑賞券



・ワークショップ 雀踊りのパラパラ漫画を和綴じ本でつくろう
日　　時　令和8年1月24日（土）　13：30～15：00
会　　場　1階講堂
講　　師　林順一（学芸課長）、太田珠音（学芸員）
石川恵理（学芸員）
参加者数　41人（午前16人　午後18人
付添参加者7人）
参 加 料　300円／人



・ギャラリートーク（2 回開催）
日　　時　令和8年1月31日（土）　①10:30～　②13:30～
令和8年2月28日（土）③10;30～　④13:30～
講　　師　石川恵理（学芸員）
参加者数　合計160人



開催日	① 1/31	② 1/31	③ 2/28	④ 2/28
参加者	30 人	35 人	45 人	50 人

参 加 料　当日鑑賞券

・浦上コレクション北斎漫画展記念ピアノコンサート

ジャポニスムの作曲家として知られるドビュッシー。彼の作曲による「月の光」、「亜麻色の髪の乙女」を演奏し、多くの来館者にジャポニスムの世界観に触れてもらえた。コンサート目的での来館者も多く、美術館への誘客の仕掛けとして大成功。音楽鑑賞後、実際に多くの方の見学につながっていたことも、こうした関連事業の重要性を示している。

日　　時　令和8年2月15日　①11:00～　②14:00～
会　　場　1 階エントランスホール
演 奏 者　友光雅司（備前市在住のピアニスト）
演 奏 曲　クロード・ドビュッシー作曲
　　月の光／亜麻色の髪の乙女
　　「ピアノのために」よりプレリュード　ほか
参加者数　240 人（①126 人／②114 人）
入 館　料　無料

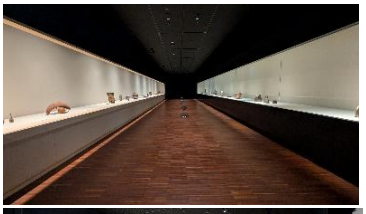


カ．　備前陶芸のいま（2階展示室1）

「備前陶芸のいま」と題し、大きく変貌している備前陶芸をリアルタイムで伝えようとする企画で、令和7年度に館長と語る会にて意見交換をした備前の陶芸作家の作品展を実施。今後も地元の作家を広く取り上げていく。

作家名は、赤井夕希子、伊勢﨑創、岡野玄鹿、豊福博、中本研之、宮尾昌宏、森一朗の7人。

会　　期　令和8年3月14日（土）から令和8年6月21日（日）
入 館 料　一般500円、高校・大学生300円
　　中学生以下無料



キ．新収蔵・新寄託品展（2階展示室2・3）

「新収蔵・新寄託品展」と題し、展示室2では新収蔵品に館蔵品を交えて備前陶芸の基本的な装飾技法を紹介した。展示室3では、主に備前以外の





現代陶芸を、紹介した。令和5年度に実施した備前ビエンナーレの入賞作品のほか、令和7年度に当館で開催した企画展をきっかけに寄贈・寄託いただいた作品、日本の現代陶芸の重鎮である鈴木治の作品など全60点を展示した。このような展示は、寄託や寄贈を受け入れている美術館の姿勢を示すものであり、今後の美術館運営を行っていくうえでの重要な事業である。

会　　期　令和8年3月14日（土）～6月21日（日）
会　　場　2 階展示室2・3 「新収蔵・新寄託品展」
観 覧 料 一般500円、学生300円、中学生以下無料
観覧者数　824 人（令和8年3月 14 日から令和3月31日まで）
※「カ.備前陶芸のいま」の観覧者含む

ク.備前焼里帰り事業

備前焼の研究を行い古備前の編年を完成させた第1人者・桂又三郎が収集したコレクションは、彼が亡くなると備前の地から散失し、長い間その存在が不明であった。しかし、東京の大林寺にまとまったかたちで収集されていることが判明した。本事業では、貴重な桂又三郎の鑑定品を備前の地に買い戻し、今後の桂又三郎の業績の検証につなげていく。

作品の搬出には、先方の事情により、11 月、1 月、3 月の 3 回に分けて行い、東京から備前への輸送は、12 月と3月の 2 回とした。

期　　間　令和7年4月～令和8年3月
作　　業　古備前資料の選定（大林寺新倉住職が実施）、梱包作業（新倉住職と備前焼伝統工芸士会員）、確認作業（学芸員/備前市担当者）作品輸送は、新倉氏の指定する業者で行った。
点　　数　桂又三郎鑑定付き古備前 385 点
成 果 等　桂鑑定には、色々な憶測があり、晩年はその評価を落としていた。まとまった資料はほかに例がなく貴重で、今後の桂鑑定の検証等に大いに役立つと思われる。

ケ. 備前焼作家交流事業「陶芸談義　―金子賢治館長と語るー」

備前市美術館館長並びに学芸員が若手・中堅の備前焼作家と意見交換する「語る会」を実施。毎回、作家5人程度を招いて作品を批評しながら語り合う。

一回目　令和7年11月15日（土）13:30～15:30
備前焼作家：赤井夕希子、岡野玄鹿、豊福　博、中本研之、森一朗
館長、学芸課長、学芸員3人、理事長　計11人

二回目　令和7年12月16日（火）15:00～17:00
備前焼作家：伊勢﨑　創、宮尾昌宏
館長、学芸課長、学芸員3人、理事長　計　8人

三回目　令和8年3月20日（金・祝）14:00～16:00
備前焼作家：伊勢﨑　卓、柴岡　力、瀧川卓馬、好本康人
館長、学芸課長、学芸員3人、理事長　、事務局１人、
マスコミ１人　計12人

コ. 次年度展覧会開催準備事業

令和８年度以降の展覧会開催のための準備を行った。
①ティーカップ・メリーゴーラウンド
②セラミック・レゾナンス
③伊勢﨑淳展
④その他

①ティーカップ・メリーゴーラウンド
展覧会の概要：岐阜県現代陶芸美術館の近現代西洋陶磁器コレクションの中から、ティウェアやコーヒーウェアを中心に珠玉の名品128 点を借用し紹介する。数年にわたり全国7か所で巡回する展覧会で、当館は三井記念美術館（東京）に続いて令和８年７月～９月に開催する予定。
作 業 内 容：借用する作品の選定、会期、借用・返却時期及び関連事業の調整を行い、ポスター、チラシ等の作成を行うなどの準備作業、借用申請、後援申請などの事務手続きも進めた。

②セラミック・レゾナンス

展覧会の概要：現代の陶芸・工芸シーンにおける最新の動向や作家独自の表現を、当館ならではの視点で紹介する企画展。暮らしに寄り添う食器から備前陶芸の可能性を拡げる挑戦的な作品まで、素材や技法のほか活動拠点や世代も異なる作家の作品が、窯業地・備前で響き合う。全国の作家から 16 人約80点を展示紹介する。

作 業 内 容：借用しようとする作家のリストアップ及び事前調査、会期等展覧会の概要の作成及び展示計画の作成等

③伊勢﨑淳展

展覧会の概要：備前陶芸を代表する人間国宝（文化功労者の伊勢﨑淳は今年 2 月に 90 歳を迎えた）。直近では当美術館建築に合わせて約 7mに及ぶ巨大なモニュメントを作成するなど、高齢となった今日でも創作意欲は旺盛である。こうした彼の大回顧展を、地元備前を皮切りに全国巡回で開催することは大きな意義がある。全国で 5 館、約 2 年間の規模での開催を見込む。

作 業 内 容：監修者・共催者及び巡回展参加希望館との連絡調整、展覧会の概要の作成、及び作品リストアップ等のスケジュール調整。

④そ の 他　　エミール・ガレ展、川喜田半泥子、形山コレクションによる茶碗展、桂又三郎コレクション展等の今後の開催について検討を行った。

（4） 文化芸術施設等の管理運営に関する事業（指定管理運営事業）

美術館施設等を貸与し、展示、講演、講習会、お茶会、演奏会など主に文化芸術活動の鑑賞、表現、交流として利用され、地域のコミュニケーションの場としての役割を担う拠点となり得るために、当法人が行う自主事業をはじめ、文化芸術等の利用により、文化芸術活動の育成や継承が図られ地域との繋がりが形成される。文化芸術施設等の管理運営事業は当法人の目的を達成するための手段として重要な位置づけである。

また、施設の多目的利用並びに美術館という観光施設の一助を担う観点から、施設利用者並びに来館者への利便性やサービスの向上、市・地域の財産である観光資源の発信を担うにあたり、美術館施設内にカフェ、ショップの管理・運営

を行う。

令和6年8月から令和9年3月の2年8カ月間、備前市より備前市美術館並びに備前市備前焼伝統産業会館（備前市美術館別館）の指定管理者として、指定を受け実施する。

（ア）備前市美術館

ⅰ）施設管理・運営事業

1階・・・・エントランスホール、講堂（定員：81人）、展示室0、風除室、歴史展示室、カフェ、ミュージアムショップ、インフォメーション収蔵庫、前室1、前室２、トイレ、控室、搬入口、倉庫、機械室、消火ポンプ室、授乳室、厨房、荷捌室

2階・・・・展示室1、展示室2、展示室3、歴史コーナー、チケット売場、スタッフ控室、トイレ、機械室、前室

3階・・・・ラウンジ、茶室、立礼席、スタジオ、資材庫、枯山水、ビデオコーナー、事務所、資料室、保管庫、トイレ、機械室、前室

その他・・植栽、駐車場

ⅱ）貸与施設料徴収事業

・施設利用希望団体等への施設貸出事業

１階・・・・講堂、展示室0

3階・・・・茶室、ラウンジ

ⅲ）カフェ・ショップ管理運営事業

1階カフェコーナー並びにショップコーナーにおいて展示会来館者・施設利用者・観光客や地域市民が交流やコミュニケーションを図る自由に憩える場の提供と特別展関連グッズや美術館グッズ、備前焼、市内外の特産・物産品等地域のプラットホームを意識した事業運営を実施する。

ⅳ）鑑賞料並びに入館料徴収事務

特別展等有料事業の徴収事業

ｖ）美術館サポーターの開設

（イ）備前市備前焼伝統産業会館（備前市美術館別館）

ｉ）施設管理・運営事業

1階・・・・観光案内、休憩所、トイレ、貸店舗Ⅰ、貸店舗Ⅱ
2階・・・・研修室、備前焼展示販売コーナー、ギャラリー、事務室Ⅰ、事務室Ⅱ、
給湯室、資料室、トイレ、空調機械室
3階・・・・総合研修室、技術講習室、倉庫、給湯室、トイレ、空調機室
その他・ 駐車場、駐輪場、花壇

ii）貸与施設料徴収事業

施設利用希望団体等への施設貸出事業
1階・・・・観光情報センター、貸店舗Ⅰ（西側）、貸店舗Ⅱ（東側）
2階・・・・研修室
3階・・・・総合研修室

（5） その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

備前市美術館の施設を活用した自主事業や公益目的の事業展開、また、備前焼のより一層の魅力や継承の促進向上を目指して行う当法人の事業の情報発信を行う。

（ア）情報発信事業

当法人や美術館ホームページ、SNS、サイネージ、当法人広報冊子によるイベントや地域の情報を発信する事業の展開。

（6） 備前市美術館開館記念特別展実行委員会で取り組む事業

ｉ）備前市美術館開館記念特別展 （実行委員会）

令和7年7月12日の開館を記念して「備前市美術館開館記念特別展」を開催し、9月24日には来場者1万人を達成。133 日間の会期中、16,591 名と多くの方にご来場いただいた。

1　開館記念特別展に関すること

ア).ピカソの陶芸－いろとかたちの冒険－　展示室2･3

会　　期:令和7年7月12日～令和7年9月28日(68 日間)

ピカソ陶芸作品36点、リノカット(版画)2 点の合計 38 点を紹介。

38点中、35点をヨックモック･

ミュージアム(東京都港区青山)の

特別な協力を得て実施。



イ).備前の現代陶芸:至極の逸品　展示室1

会　　期:前期　令和7年7月12日～令和7年9月28日(68 日間)

後期　令和7年10月11日～令和7年12月25日(65 日間)

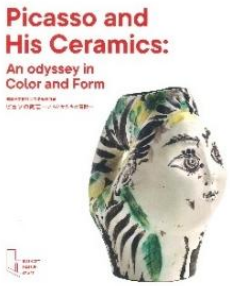
35 人の作家による 80 点の作品を前期と後期の

2 回に分けて紹介。

※9月29日(月)～10月10日(金)は展示替え



2　図録制作に関すること



･ピカソの陶芸展図録

発行部数:2,000 部

販売価格:1,500 円

販売実績:211 部



･備前の現代陶芸:至極の逸品展図録

発行部数:1,000 部

販売価格:2,000 円

販売実績:177 部

3　入館者数に関すること

①ピカソの陶芸－いろとかたちの冒険－　2階展示室2･3

②-ｉ　備前の現代陶芸:至極の逸品(前期)　2階展示室1

会　　期:前期　令和7年7月12日～令和7年9月28日(68 日間)

企画展観覧者数 11,328 名

②-ii　備前の現代陶芸:至極の逸品(後期)　2階展示室1

会　　期:後期令和7年10月11日～令和7年12月25日】65 日間

※10月11日から12月14日まで「正宗文庫の小宇宙」を展示室2･3で同時開催

企画展観覧者数　5,263 名

開館記念特別展会期【令和7年7月12日～12月25日】の観覧者数
会期来館者数合計 16,591 名　※詳細は別紙のとおり
※会期中同時開催「正宗文庫の小宇宙」観覧者数含む。

4　広告宣伝に関すること

新聞広告（山陽新聞・神戸新聞・産経新聞中国版）
美術雑誌広告（炎芸術・美術の窓・美術手帖・陶説）
雑誌広告（タウン情報おかやま・芸術新潮）
JR タイアップ広告（ポスター掲示/中吊広告）
岡山駅南地下道ビジョン広告（7 月から12月）
テレビ CM（テレビせとうち）（7月放送計32本）
美術館ホームページ掲載、SNS、X
PR タイムス（プレスリリース）、メールマガジン配信
無料掲載雑誌等

《備前市美術館の認知方法》
◎アンケート（1,057 件）結果　トップ5

第1位	新聞（24％）
第2位	友人・知人の紹介（23％）
第3位	テレビ（17％）
第4位	その他（16％）
第5位	美術館ホームページ（15％）

5　関連事業に関すること

① ピカソの陶芸－いろとかたちの冒険－関連事業
・ギャラリートーク（2階展示室2・3　合計3回開催）13：30～14：30
講　　師：太田珠音（担当学芸員）
参加者数：合計86人

開催日	7 月 27 日
参加者	40 人
開催日	8月23日
参加者	20人
開催日	9月21日
参加者	26人



参 加 費：当日観覧券

・開館記念コンサート「フランスによせて」（7 月 26 日）

日　　時：令和7年7月26日（土）①11：00～12：00
　　②14：00～15：00

会　　場：1階エントランスホール

出 演 者：Sorella（樋口利歌 Vn.、渡邉美音 Va.、久保司 Ba.、
　　橘佳祐 Pf.、大河原秀雄 Perc.）

演 奏 曲：亡き乙女のためのパバーヌ、恋は水色、ジムノペディほか12曲

参加者数：①・②計　150 人

参 加 費：　無料





・講演会 「ピカソの陶芸作品の魅力について」

日　　時：令和7年8月2日 13:30～15：00

会　　場：1階講堂

講　　師：松井裕美 氏
　　（東京大学総合文化研究科准教授）

参加者数：57 人

参 加 費：当日鑑賞券



・ワークショップ　陶器タイルの絵付け体験
　　「エディション・ピカソに挑戦してみよう」

日　　時：令和7年8月9日（土）10：00～15：00

会　　場：1階講堂

講　　師：林順一（学芸課長）、太田珠音・田邊桃子・石川恵理（学芸員）

内　　容：タイルに上絵付、ミニトンネル窯にて
　　820℃で焼成し、当日作品を手渡した。

対　　象：小学生以上

参加者数：71 人

参 加 費：1 人 500 円





② 備前の現代陶芸：至極の逸品　関連事業



・クロストーク「備前の現代陶芸―過去・現在・未来」

日　　時：令和7年9月13日（土）13：30～15：00

会　　場：1階講堂

講　　師：金子賢治（備前市美術館館長）

唐澤昌宏氏（国立工芸館館長）

内　　容：日本を代表する工芸の評論家・研究家の２人が工芸史の視点から、備前の現代陶芸の「今までとこれから」について語る。

参加者数：60 人

参 加 費：当日観覧券

・ギャラリートーク（毎月１回、合計６回開催）　参加者数：合計262人

開催日	7 月 20 日	8 月 24 日	9 月 27 日	10 月 26 日	11 月 29 日	12 月 21 日
講　師	隠﨑隆一氏	島村　光氏	伊勢﨑晃一朗氏	佐藤苔助氏	澁田寿昭氏	多久　守氏
参加者	70 人	55人	42 人	40 人	25 人	40 人

会　　場：2階展示室1

進　　行：田邊桃子（担当学芸員）

参 加 費：当日観覧券





Ⅱ　組織・執行体制の状況

（1）　役員に関する事項

役　名	氏　　名	就任年月日	常　勤 非常勤	報 酬	主な職名	備考
理事長	大橋　宗志	令和7年6月17日	常　勤	有	株式会社山陽新聞社顧問	重任
理　事	井手　康人	令和7年6月17日	非常勤	有	愛知県立芸術大学教授 日本美術院同人	重任
	島村　　光	令和7年6月17日	非常勤	有	備前焼作家 岡山県指定重要無形文化財保持者	重任
	谷一　　尚	令和7年6月17日	非常勤	有	一般財団法人林原美術館館長	重任
	牧　沙緒里	令和7年6月17日	非常勤	有	株式会社三石ハイセラム代表取締役社長	重任
	守安　　收	令和7年6月17日	非常勤	有	岡山県立美術館館長	重任
	若林　昭吾	令和7年6月17日	非常勤	有	公益社団法人岡山県文化連盟会長 株式会社三好野本店代表取締役会長	重任
常務理事 （業務執行理事）	大森　賢二	令和7年6月17日	常　勤	無	一般財団法人備前市文化芸術振興財団事務局長	重任
監　事	大賀　泰子	令和5年4月18日	非常勤	有	司法書士 （司法書士法人楷の木合同事務所）	就任
	草加　浩一	令和6年6月24日	非常勤	無	備前市会計管理者	就任
評議員	伊勢﨑　惇	令和5年4月18日	非常勤	有	備前焼作家 国指定重要無形文化財保持者	就任
	小郷　康弘	令和7年6月17日	非常勤	無	備前市教育委員会教育長	就任
	黒住　宗晴	令和5年4月18日	非常勤	有	黒住教六代教主	就任
	越宗　孝昌	令和5年4月18日	非常勤	有	公益財団法人岡山文化芸術創造理事長 株式会社山陽新聞社相談役	就任
	佐藤　将男	令和7年11月4日	非常勤	無	備前市副市長	就任
	時岡　晴美	令和5年4月18日	非常勤	有	香川大学名誉教授	就任
	中田由紀人	令和5年10月3日	非常勤	有	備前日生信用金庫理事長	就任

令和８年3月31日現在

（2）　職員に関する事項（令和8年3月31日現在）

事務局長　　大森　賢二
事務局次長　　三村　晃弘
事務局員　　小野　綾子
　　森　　勇美
学芸員　　太田　珠音（市より派遣）
　　田邊　桃子（市より派遣）
　　石川　恵理（市より派遣）
非常勤職員・パート職員　　19名

（3） 理事会･評議員会に関する事項

ア. 理事会

開 催 年 月 日	議　　事　　事　　項	結 果
令和7年5月29日(木) 13時30分～15時 第1回理事会 備前市市民センター 4階会議室(1)	(1)承認事項 第1号議案　令和6年度事業報告及び計算書類について 第2号議案　利益相反に関する事項(案)について (2)決議事項 第3号議案　令和7年度第 1 次収支補正予算(案)について 第4号議案　理事の候補について 第5号議案　評議員の辞任並びに候補者について 第6号議案　令和7年度定時評議員会の招集(案)について	可　決
令和7年6月17日(火) 15時30分～16時 第2回理事会 備前市美術館 1 階講堂	(1)決議事項 第1号議案　理事長(代表理事)及び常務理事(業務執行理事)の選定について 第2号議案　理事長以外の理事の順序について	可　決
	(2)報告事項 ①評議員の辞任並びに就任について	
令和7年9月18日(木) 10時15分～12時 第3回理事会 備前市美術館 1階講堂	(1)決議事項 第1号議案　令和7年度事業計画変更(案)及び第2次収支補正予算(案)について 第2号議案　評議員の候補者について 第3号議案　令和7年度第2回評議員会の招集(案)について	可　決
	(2)報告事項 ①理事長及び業務執行理事の職務の執行状況について ②ピアノの受贈について ③公益財団法人への移行について	
第4回理事会 (書面評決) 令和7年10月17日(金)	第2号議案　令和7年度第2回評議員会の日程変更及び目的である事項の追加(案)について ･日時及び場所について ･評議員会の目的である事項について	可　決

開催年月日	議事事項	結果
令和8年2月18日(水) 13時30分～15時 第5回理事会 備前市美術館 1階講堂	(1)決議事項 第1号議案　令和7年度第3次収支補正予算(案)について 第2号議案　令和8年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について 第3号議案　定款変更(案)・諸規程・規則の変更(案)並びに新たな規程(案)について 第4号議案　第3回評議員会招集(案)について	可決
	(2)報告事項 ①公益財団法人への移行について ②理事長及び業務執行理事の自己の職務の執行状況について	

イ. 評議員会

開催年月日	議事事項	結果
令和7年6月17日(火) 13時30分～15時 定時評議員会 備前市美術館 1階講堂	(1)承認事項 第1号議案　令和6年度事業報告及び計算書類について 第2号議案　令和7年度第1次収支補正予算について	承認
	(2)決議事項 第3号議案　理事の選任について 第4号議案　評議員の辞任並びに選任について	可決
	(3)報告事項 ①　職員採用について	
令和7年11月4日(火) 13時30分～15時 第2回評議員会 備前市美術館 1階講堂	(1)承認事項 第1号議案　令和7年度事業計画変更並びに第2次収支補正予算について	承認
	(2)決議事項 第2号議案　評議員の選任について 第3号議案　公益財団法人への移行について	可決
	(3)報告事項 ①　理事長及び業務執行理事の職務状況について ②　ピアノの受贈について	

開 催 年 月 日	議　　事　　事　　項	結 果
令和8年3月3日(火) 13時30分～15時 第3回評議員会 備前市美術館 1 階講堂	(1)承認事項 第1号議案　令和7年度第2次収支補正予算について 第2号議案　令和8年度事業計画並びに収支予算について	承 認
	(2)報告事項 ①公益財団法人の認定について ②諸規程・規則の変更並びに新たな規則について ③理事長及び業務執行理事の職務の執行状況について	

(4) その他の事項

1. 令和7年6月27日　理事全員の重任登記
　　評議員2名の退任並びに評議員1名の就任登記
　　代表理事並びに業務執行理事の重任登記
2. 令和7年11月4日　評議員1名の就任登記

Ⅲ 事業報告の附属明細書

事業報告に関して、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている附属明細書により、その内容を補足すべき重要な事項はありませんので附属明細書は作成しておりません。